

JENESYS2018 ASEAN 招へいプログラム第12陣の記録 フード・バリュー・チェーン交流、対象国：ベトナム

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2018」の一環として、ベトナム農業省から14名が2018年11月13日～11月20日の日程で来日し、「フード・バリュー・チェーン交流」をテーマとしたプログラムに参加しました。

一行は、東京都及び青森県を訪問しました。東京都では、日本の産業や歴史、食文化に関わる施設を視察し、青森県では、農業関係機関の視察や、地域住民や企業関係者と交流しました。こうしたテーマ関連の現場視察や日本人との交流を通して、日本についての理解を深め、関係者とのネットワークを広げました。また、一行は、各々の関心事項や体験についてSNSを通じて対外発信を行うとともに、帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について発表しました。

【人数】 ベトナム14名

【訪問地】 東京都、青森県

2. 日程

- 11月13日（火） 来日、【オリエンテーション】
- 11月14日（水） 【基調講演の聴講】農林水産省
【テーマ関連視察】あおもり北彩館（青森食材を活用のレストラン）
- 11月15日（木） 東京都から青森県へ移動
【学校交流】青森中央学院大学、【地域概要講義の聴講】青森県庁
【文化体験】ねぶたの家ワ・ラッセ
- 11月16日（金） 【テーマ関連視察】弘果弘前市場、板柳町ふるさとセンター、
JAアオレン（りんごジュース工場）
【表敬訪問・地域概要の聴講】黒石市副市長
- 11月17日（土） 【テーマ関連視察】JA津軽みらい、【関係者との意見交換】黒石市、
株式会社青森りんごランド、【ホームステイ】黒石市周辺
- 11月18日（日） 【ホームステイ】、【地域住民・関係者との歓送会】
【ワークショップ（報告会準備）】
- 11月19日（月） 青森県から東京都へ移動、【成果報告会】
- 11月20日（火） 【文化視察】浅草・浅草寺、帰国

3. プログラム記録写真

	
11月13日【オリエンテーション】	11月14日【基調講演】 農林水産省
	
11月14日【テーマ関連視察】あおもり 北彩館（青森食材を活用のレストラン）	11月15日【学校交流】青森中央学院大学
	
11月16日【テーマ関連視察】 弘果弘前市場	11月16日【テーマ関連視察】 板柳町ふるさとセンター
	
11月16日【地域概要の聴講】黒石市	11月17日【テーマ関連視察】 JA 津軽みらい

	
11月17日【関係者との意見交換】 株式会社青森りんごランド	11月19日【成果報告会】

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ベトナム参加者

基調講演時の資料は説明を詳細に記載いただき、大変参考になりました。青森中央大学では熱烈な歓迎を受けました。同大学は、外国人留学生、特にベトナム人留学生を多く受け入れていることを知りました。日本の企業は商品の品質をととても重視していて、常に最高の商品を生産していることに感動しました。農家は農協や卸市場を通じて商品を販売しており、価格を不当に安くすることはありませんでした。企業の規模は非常に大きいですが、先進的な設備、技術を採用しているので、従業員が少なくても済むということも利点だと思いました。ホームステイでは、農村における日本人の生活様式を体験することが出来ました。日本の家族は皆さんとても親切で情熱的でした。日本の農家で、私たちが一緒に作った料理を食べて、りんご園でりんご狩りも体験したことは、よい思い出になりました。

◆ベトナム参加者

6次産業化における日本の取組みに関する講義では、フード・バリュー・チェーンの成功事例を紹介されました。6次産業化において、農家自らが、生産、加工、そして市場に販売することで農産品の付加価値を高めることができていました。青森中央大学では、ベトナム人留学生らが多くおり、彼らは良い環境で勉学できている様子でした。企業視察で聞いた、企業の市場へのアクセス・キーワードである「健康」と「女性」についての説明は、とても印象深いものでした。これは真のマーケティングであると思いました。また、日本の企業は生産前に、市場調査を行い、その後に市場のニーズに沿って生産していました。企業が農家に対し、責任を持って対応することで安定的な連携ができ、それによって農家が安心して生産し、農家の収入増につながるものでした。また、ホームステイを体験し、この地域の皆さんの温かさ、誠実さを感じるとともに、彼らの生き方を学ぶことができました。

◆ベトナム参加者

基調講演から、多くの事情を学ぶことが出来ました。青森中央学院大学の訪問は、大変有意義な時間となりました。私は多くの知人に青森中央大学を紹介したいと思います。企業や地方自治体は大変熱烈に歓迎してくださいました。関係者それぞれの取り組みについての説明は、実践的で、生産実体到大変合致しているものでした。また、企業経営者からは、「本当にやりたいなら必ず成功する」という強い信念と、起業時の困難や経

験などを教えていただき、素晴らしい経験になりました。ホームステイは良い経験でした。農村の施設で、文化交流をしながら、地方の特産品と観光を連結させるアイデアは、6次産業化の実現に寄与するものと思います。農家は自らの商品、ブランドを紹介しながら、東南アジア更に世界各国に、日本の文化やおもてなしの心を伝えることができるものと思います。本プログラム行程は大変充実していて、有意義なものでした。通訳やスタッフの皆さんの責任のある精神が私の心に大変深い印象を残しました。最後に、日本政府をはじめ、本プログラムの関係者の皆様に感謝申し上げます。

5. 受入れ側の感想

◆学校関係者（青森中央学院大学）

本学のベトナム人留学生が通訳を担い、学校紹介にキャンパスツアーにと大活躍できる機会となりました。彼らにとっても自国の官僚と話すことは有意義な経験になったのではないかと思います。

◆ベトナム人留学生（青森中央学院大学）

私は、大学を通じて、農家民泊のごぼう収穫体験に参加し、実際の体験を通して、栽培や収穫をするだけではなく、保管や気候などにも対応しなければならない、農家の苦勞を感じた経験があります。この経験から、いつもロボットなどの高度な技術のことに関心を持っていた私は、自然に触れる活動も楽しいと思い始めました。青森中央学院大学にはベトナムからの留学生がたくさんいますが、ベトナムから旅行に来る観光客はまだ少ないと感じています。ですから、私たち留学生は、青森では農水産業がとても盛んで、その特徴を活かし、農家民泊を行っていること、また、青森の冬は長いこと、ベトナムにはない雪の活動もたくさん行われていることなどの、青森の楽しさ、面白さについて、今後もっとたくさんの人たちに紹介していきたいと思います。

◆ホストファミリー

ベトナムと日本の同年代の考え方、日常的な事情の比較が出来ました。また、ベトナムの皆さんが、日本の食事の調理法を積極的に学ぶ姿勢が印象的でした。

6. 参加者の対外発信

 Day 4: Đi thăm nhà máy lớn nhất tp Kurotsaki, tỉnh Aomori về phân loại, làm sạch, đóng gói và khâu táo JA Tsugaru Mirai. Tại đây có 4 bạn nữ là lao động Việt Nam đang làm việc. Cán bộ nhà máy đã giúp thành viên đoàn phân biệt sự khác biệt giữa 2 loại táo Fuji... もっと見る	2018年11月17日、青森県黒石市の最大規模のJA津軽みらいを見学しました。ここではりんごの選果、洗浄、検査、梱包などの工程を見学しました。4名のベトナム人実習生がいました。実習生からふじ（有袋りんごでベトナムに輸出している）とサンふじ（無袋りんご）の区別などの説明を聞き、食べ比べも体験できました。
---	--

 Chieu ngày 17, Đoàn tiếp tục đi thăm xưởng sản xuất bánh kẹo và các sản phẩm liên quan tới táo của bác Nông dân Noburo Tsugawa - Giám đốc công ty Ringo land. Nghe bác kể chuyện về việc gây dựng sự nghiệp từ anh nông dân 2 bàn tay trắng tới ông chủ củ...	2018 年 11 月 17 日、りんごや他の農産品、りんごのお菓子やジャムなどを生産する青森りんごランドを見学しました。農家であり、株式会社青森りんごランドの津川社長が何も持っていない農家から起業し、今や 100ha 単位の農園でりんご、ブルベリー、シャインマスカットの栽培、億円単位の冷蔵設備、加工設備などを所有するに至ったが、まだ前進したいと思っていることを聞きました。まさに 6 次産業化の成功例だと思います。
--	--

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

KẾ HOẠCH HÀNH ĐỘNG Chia sẻ mô hình nền công nghiệp thứ sáu ở tỉnh Aomori – Nhật Bản cho người nông dân trồng cam tại tỉnh Hòa Bình – Việt Nam 	Time: 01/2019 Organizer: Sun Fuji and MARD communist Youth Union Participants: 100 youth officials  JENESYS 2018 
テーマ「日本国青森県で行われている 6 次産業化モデル」をベトナム国 Hoa Binh 省のみかん農家に展開します。 具体的には、Hoa Binh 省 Cao Phong 郡におけるみかん農家及び Cao Phong みかん国営有限会社に日本国青森県で行われている 6 次産業化モデルを紹介し、普及させます。 活動内容：Hoa Binh 省 Cao Phong 郡のみかん農家、企業と面会します。データ、資料を準備し、実施計画を作成します。日本や現地の関係機関、MARD などに助成金を申請します。計画を実施する。実施結果を報告し、提言を行います。	テーマ「日本の 6 次産業化モデルの共有」として、共産党青年団農業部団員に日本の 6 次産業化モデルを紹介し、普及させます。 活動内容：実施詳細計画を作成する。予算を調達します。MARD 国際協力局を通じて JICA その他の関連組織に支援を呼びかけると共に日本の企業や共産党青年団員の寄付を呼びかけます。MARD 共産党青年団の WEB サイトや SNS などを通じてフォーラムのことを宣伝します。有識者をフォーラムのパネラーとして参加を招請します。